

## 必要要員を確保せよ！ 5.1兆円リニア建設の財源は？

### 経営協議会開催 平成20年度第2四半期(中間)決算

本部は10月30日、経営協議会で「平成20年度第2四半期(中間)決算概要」の説明を受けました。

決算概要は、新幹線、在来線の輸送収入は前年同期並みを確保したが、N700系投入の減価償却費の増加で増収減益となり、営業収益7,729億円(1.0%増)、経常利益1,726億円(7.5%減)、純利益1,026億円(5%減)となりました。

冒頭、鈴木委員長は、東京第一運輸所の組合員に対し、不当な見せしめの日勤教育が行われていることに対する抗議と、最高裁での不当労働行為の決定を受け会社の姿勢を改めるよう求めました。その後、長期債務やリニア建設など5項目について質問しました。しかし会社は「経営協議会の義論ではない」「答える必要はない」「抗議は受け付けない」と全く誠意のない対応に終始しました。

#### 鈴木委員長の質問概要

1. 経営環境における中間決算の評価について。
2. 長期債務の返済について。
  - (1) 返済状況の推移について。
3. 要員と人件費について。
  - (1) 休日出勤について。
  - (2) 専任社員、出向社員の労働条件について。
4. リニア中央新幹線構想について。
  - (1) 技術的な課題について。
  - (2) 沿線自治体との関係について。
  - (3) 長期債務の上で新たな建設費の負担について。
5. 加藤誠二さんの懲戒解雇処分を撤回すること。

不当な見せしめ日勤教育をやめろ！  
最高裁決定を真摯に受けやめろ！